

文学部 日本文学科					
タイトル	著 者	出 版 社	推 薦 コ メ ン ト	推 薦 者	ラベル番号
ある言語学者の事件簿	谷口 ジョイ	くろしお出版	個人的に「学者本」とグルーピング化してるものです。学者が研究を随筆として語る本です。外国人が日本語教育に興味を持ち、静岡の方言を研究するようになった、というだけでも興味深いですが、育児・子育てしつつ、東大大学院で研究して学位をとって、静岡井川方言を研究する姿は、女性だけでなく人間にとっても勇気を与えてくれる一冊です。	江口 泰生先生	S00002085
私たちはどう学んでいるのか	鈴木 宏昭	ちくまプリマー新書	「学習」とはどのような営みなのでしょう。認知科学の視点から、「学習」、特に知識の習得について、様々な実証データに基づき、情報、記憶のメカニズムについて焦点を当てた一冊。問題を解くためには、情報、記憶という認知的リソースと、それをを用いる状況が提供するリソースを組み合わせで知識を構築する作業やメタ学習の価値など、教職志望学生に限らず、有意義な知見を得ることができるでしょう。	大滝 一登先生	834690
生命と時間のあいだ	福岡 伸一	新潮社	生命現象を手がかりに、時間とは何かを根底から見直させる一冊です。言語の時制を考える授業においても、単なる文法形式の整理に終わらず、時間をどのように認識し、切り分け、表現するのかを深く考えるための刺激を与えてくれます。言語の本質へ迫るには、言語学の内部だけでは足りません。自然科学と人文科学が響き合う地点に立つことで、思考はぐっと豊かになります。視野を広げる格好の書です。	川岸 克己先生	S00002084
柳多留名句選 上・下	山澤 英雄他編	岩波書店	川柳は、18世紀後半から現在まで人々に親しまれる文芸作品です。本書は、江戸時代に創作された川柳の内、佳句を集めたもので、注が付けられていることで、難解な句も、理解出来るようになっています。江戸時代に生きた人々が何に関心を持ち、何に感動したかが、川柳を読むことで分かります。現在まで続く川柳の原点を理解する上で最適な書籍と考え推薦します。	島田 大助先生	856605 856606
子午線の祀り	木下 順二	岩波書店	日本の戯曲では、「竹取物語」をもとに書かれた加藤道夫「なよたけ」と並んでこれを好みます。木下順二「子午線の祀り」は「平家物語」に依拠したもので、一の谷から壇ノ浦にいたる源平合戦の流れを描く人間ドラマです。都落ちしたまま劣勢のうちに滅びへと向かってゆく平家を率いる平知盛(とももり)。彼の苦衷が、配下の民部大夫・重能(しげよし)や影身の内侍たち、また敵対する源義経の内面とも対比されつつも、陰翳深く物語られます。台本として読むだけでなく実にドラマチックな展開で、感銘深い名作だと思います。	外村 彰先生	S00002133
未来をつくる図書館	菅谷 明子	岩波書店	みなさんは図書館の役割とは何か考えたことがあるでしょうか。本が無料で借りれるところ？本書は、世界最大の公共図書館と言われるニューヨーク公共図書館の多彩な活動を紹介し、図書館が市民の能力を引き出し、未来の社会を築く知的なインフラとなっていることを明確な文章で解説しています。図書館に対するイメージを変えてくれるリポートです。なお、ニューヨーク公共図書館は2017年フレデリック・ワイズマン監督により『Ex Libris: The New York Public Library』(本学図書館でも視聴可)として映画化されました。映画と合わせて読むのもお勧めです。	中尾 康朗先生	801618
私が源氏物語を書いたわけ	山本 淳子	角川学芸出版(文庫)	紫式部研究を進めてきた著者が、紫式部の記した『源氏物語』をはじめ『紫式部日記』や『紫式部集』など、物語、日記、和歌を通して、物の考え方、人間関係、仕事に対する向き合い方など、紫式部の心の中に分け入って読み解いています。今から千年前に、悩みながらも前を向いて進んでいった専門職のキャリアウーマン紫式部から「知のバトン」としてのメッセージを受け取ってください。	古瀬 雅義先生	248999
日本語教師のためのCEFR	奥村 三菜子	くろしお出版	CEFR(言語教育に携わるすべての人たちが言語教育・言語学習を考える際に参照できるガイドライン)の理念と枠組みを日本語教育の現場にどう生かすかを具体的に示した実践的な一冊です。到達目標の設定や評価の在り方を分かりやすく解説し、授業設計に直結する視点を提供してくれます。理論の紹介にとどまらず、教師自身の内省を促す構成も魅力的です。これからの日本語教育を考えるすべての教師に薦めたいです。	宮岸 哲也先生	B00002617
木に「伝記」あり	瀬田 勝哉	朝日新聞出版	本書は、とある一本のイチョウの巨樹とその木にかかわった人々の歴史について史料を通して明らかにしています。木の歴史を知るには、その木に関する史料が残っていることがとても重要ですが、それを読むだけではありません。イチョウにかかわる様々な史料を調査します。全国各地の、場合によっては海外にも及ぶフィールドも歩きます。地元の人の話を聞いてさらに史料を探します。もちろん生物学や民俗学など多岐にわたる異分野の専門家との協力も欠かせません。本書を読めば、歴史学研究の面白さと難しさがわかります。	安田 容子先生	B00002616
デカルト哲学	小泉 義之	講談社	近代哲学の祖・デカルトの思想を読み抜く試み。デカルトの言葉に徹底して忠実でありながら、教科書的概説からは遠く離れる、正統かつ異端の読解が示されます。本書を通じて、僕は以下のことを学びました。①〈古典〉を読むとはどういうことか。②〈批評的〉に読むとはどういうことか。③そもそも〈読む〉とはどういうことか。「デカルトはまっすぐに高貴な倫理を語った。だからこそデカルトは読み直すに値する」と述べる著者による、スリリングな読解の魅力が溢れる一冊です。	加藤 大生先生	S00002832

文学部 書道学科					
タイトル	著 者	出 版 社	推 薦 コ メ ン ト	推 薦 者	ラベル番号
五十年の回顧	西嶋 慎一	芸術新聞社	本書の著者は、書道と東洋美術専門の出版社である二玄社で長く編集に携わり、書壇のトップと親交を続けてきた。本書は世間によくある思い出話の本とは全く異なる。一流の書家、そして書学や漢学に関連する一流の学者・収集家たちとの、文化的・学問的な高度な交流が語られる。書道の名品との遭遇や作品の真贋問題、はたまた書道界の勢力争いなど、その現場にいた人でなければ語り得ないエピソードは非常に貴重だ。私が特に興味を引かれたのは、今では知る人も少ない清朝王族の景嘉との交流。私は思い立ったように、学識深い景嘉の掛軸を取り出したのだった。	内田 誠一先生	B00002862
王羲之を中心とする法帖の研究	中田 勇次郎	二玄社	「書聖」として敬仰され続ける王羲之。今でもその書は学書者にとって必須の古典である。しかし真蹟は一点として現存せず、実相は臨摹本や法帖など複製品を通して窺い知るほかない。本書は、種々の文献史料や『淳化閣帖』をはじめ現存する法帖を駆使して、王書について詳細で周到な説明を加える。学書者に必携の書である。	増田 知之先生	031368
米芾 宋代マルチタレントの実像	塘 耕次	大修館書店	蘇軾・黄庭堅らとともに「宋の四大家」に数えられる米芾。彼はまた書家だけでなく、画家、收藏家、鑑定家、書画理論家として様々な業績を打ち立て、後世に甚大な影響を及ぼした。本書は、文献史料に加え数多くの書跡を取り上げて、米芾のあらゆる側面に光を当てる。希代のマルチタレントの魅力がこの一冊に凝縮されている。	増田 知之先生	313329
墨林間話	神田 喜一郎	岩波書店	著者の神田喜一郎の学問は、敦煌学・日本漢文学・書誌学、そして書学にまで広範に及ぶ。平凡社『書道全集』を監修し、また日本における顔真卿評価を決定づけた『中国書法の二大潮流』を発表するなど、書を学ぶわれわれに今なお影響を与え続けている。本書は、その著者が学問の閑暇にしたためた珠玉の随筆集である。	増田 知之先生	313501
中国中古の書学理論	成田 健太郎	京都大学学術出版会	後漢後期から唐前期までの「書学理論」について、数々の文献を縦横に取り上げ、著者独自の観点から鋭い考察がなされる。書に関する諸要素を有機的に連動させ、書学理論の発生から形成にいたる経緯を立体的かつ複層的に描き出す本書は、現段階における書学研究のひとつの到達点である。最先端の研究に触れていただきたい。	増田 知之先生	313328
地下からの贈り物	中国出土資料学会編	東方書店	近年飛躍的に増加している中国の新出土資料は、これまでわからなかった近代以前の中国の実像を解明するための重要な資料として注目されています。本書は新出土資料を扱った最新の研究成果を紹介するものです。歴史・文学・思想・考古・医学など、新出土資料の持つ幅広い情報は、現代の私たちにも新たな発見のきっかけをもたらしてくれるでしょう。	井田 明宏先生	313327
ある地方官吏の生涯	宮宅 潔	臨川書店	古代社会を構成していた、ごく「普通」の一般庶民たちの暮らしやその一生については、歴史書などで知ることができません。古代の遺跡から出土した簡牘は当時の基層社会の現実を知る、重要な手がかりとなります。本書は秦の時代に地方官吏として生きた「喜」という人物の生涯を、簡牘の記述から読み解きます。古代の人々が何を思い、何に従って生きたのか、支配者は如何にして人々を統制していたのか、興味深い内容が盛りだくさんです。	井田 明宏先生	313791
文字の文化史	藤枝 晃	岩波書店	「漢字」という文字の変遷を、文字そのもの、およびその周辺の事項に着目しながら語る名著です。文字の形や書体、書風について考える上で、写本の形態や筆記具である筆や墨、紙、そして印刷技術等の周辺事項との関係は非常に重要です。文字を学ぶすべての方におすすめです。	井田 明宏先生	037041
中国古代簡牘のすべて	横田 恭三	二玄社	近年発見が相次いでいる中国古代の出土簡牘を網羅したもので、簡牘を調べるための導入書としても最適です。それぞれの簡牘の解説に加え、図版はすべてカラーで掲載されています。コラムも充実しており、特に「古代の筆記用具」、「古代の毛筆」は必見です。	井田 明宏先生	290189
中国書法史を学ぶ人のために	杉村 邦彦	世界思想社	「王羲之について深く研究してみたい。けれども何から手をつければよいのかわからない。」そのような学生に向けた、国内外初の中国書道史の研究入門書。刊行から約20年がたち情報の更新が望まれるが、時代別・分野別にわかれていて使いやすい。大学で書を学ぼうと考えている高校生にも、ぜひ手に取ってもらいたい一冊。	増田 知之先生	181225

文学部 英語英米文学科

タイトル	著 者	出 版 社	推 薦 コメント	推 薦 者	ラベル番号
Translating Japanese Texts 日本文の翻訳	Kirsten Refsing	Museum Tusculanum	This is a simple and interesting introduction to the skills needed for translation between Japanese and English. It introduces theory and then shows step-by-step the processes involved in translation. It is a not just a “useful” text, but also a way to see Japan and Japanese from a different viewpoint.	北原 アンドレア先生	313412
ドラキュラ・シンドローム	丹治 愛	講談社	世界で最も有名な吸血鬼・ドラキュラ。その物語とキャラクター設定には、19世紀末のイギリス社会の「闇」が影響していた？ドラキュラにまつわる「恐怖」がさまざまな社会「不安」を反映していたことを丹念に解き明かす本書は、長らく絶版になっていましたが、今回文庫本として復活しました。文学作品と現実社会との相互作用を考察する好例です。是非、読んでみてください。	田多良 俊樹先生	841510
ほんのささやかなこと	クレア・キーガン	早川書房	1985年、アイルランドの小さな町。クリスマスが迫り、寒さが厳しくなるなか、石炭と木材の商人であるビル・ファーロンは最も忙しい時期を迎えていた。ある日、石炭の配達のために女子修道院を訪れたファーロンは、「ここから出してほしい」と願う娘たちに出くわす。隠された町の秘密に触れ、決断を迫られたファーロンは、己の過去と向き合い始める。 アイルランドの特殊な社会的背景をもとにした物語ではあるが、女性の抑圧という普遍的な解決すべき問題に注意を向けさせてくれる小説。映画版も2026年3月に日本公開。今、大注目の女性作家の傑作。	田多良 俊樹先生	B00002618
馬・車輪・言語 文明はどこで誕生したのか(上/下)	デイヴィッド・W・アンソニー	筑摩書房	今日、世界の30億人が話している言語は印欧祖語から拡散したものです。その祖語の中に「馬」「車輪」「羊毛」といった単語が現れますが、その言葉を話していた人々は、そもそもどこにいたのか？なぜこれほどまでに印欧祖語が拡散できたのか？この書はそれらの謎を追求する壮大な歴史的・言語学的ロマンに溢れています。	松岡 博信先生	309577 309578
The Culture Map	Erin Meyer	PublicAffairs	この本は国際ビジネスの世界における異文化理解についての本である。8つの指標に基づいて文化を分類・類型化して筆者の豊富なビジネスの場での経験を織り交ぜながら、異文化を理解するとはどういうことかについて論じているベストセラーである。特に留学前ならびに就職前に読んでもらいたい本である。英語による原書と日本語訳の両方を紹介する。	山川 健一先生	313103
異文化理解力	エリン・メイヤー	英治出版	この本は国際ビジネスの世界における異文化理解についての本である。8つの指標に基づいて文化を分類・類型化して筆者の豊富なビジネスの場での経験を織り交ぜながら、異文化を理解するとはどういうことかについて論じているベストセラーである。特に留学前ならびに就職前に読んでもらいたい本である。英語による原書と日本語訳の両方を紹介する。	山川 健一先生	275959
会話の0.2秒を言語学する	水野 太貴	新潮社	さまざまな言語研究の領域から「ことば」の本質とは何かを解き明かそうとする本です。意味論、語用論、形態論、統語論、音声学、周辺言語を含む会話分析など、それぞれの領域における言葉へのアプローチの仕方が分かりやすい例とともに説明されているので、難しい専門書を読む前に事前知識を身に付けておくのにも役立ちますし、人間がどうやってコミュニケーションをしているのかというエッセイとして読んでも楽しめます。「近づく」と「近寄る」の違いなど、なるほどねと思わせてくれます。	三宅 英文先生	S00001163
外国語の水曜日	黒田 龍之助	現代書館	英語に限らずさまざまな言語の学習と言語学の研究視点について綴ったエッセイ集です。さまざまなトピックを幅広く簡潔に扱っているのが、読みやすく、言語学のエッセンスを知るのには最適な1冊です。外国語学習に関心のある人、人間にとって大切な「ことば」に関心のある人は是非手に取って読んでみてください。	三宅 英文先生	309452
対訳 フロスト詩集	ロバート・フロスト	岩波書店	This is a selection of poems from another great poet, this time a male poet of the 20th century, Robert Frost (1874-1963). Like Dickinson, he is known as a poet of one particular region, “New England” (Massachusetts, New Hampshire, Vermont, Maine, Rhode Island), but also like Dickinson, his poetry speaks to all people, in all places. Please find a quiet spot in the Library, open this book, and enjoy!	Taras Alexander SAK先生	826644
緋文字	ナサニエル・ホーソーン	岩波文庫	アメリカ文学を語る上で、避けて通ることのできない大家ホーソーン代表作の1つです。19世紀のちょうど折り返し時期である1850年に発表されました。その3年後、日本にペリーがやってきて開国を迫る、そんな時代の作品です。この大作には、膨大な量の研究があるので、今更推薦となると却って難しいのですが、真つ赤なAを胸元に縫い付けることを科された女性ヘスター・プリンの物語は、現代のアメリカ文化を考える上でも一度は触れておいていただきたい名著です。	四方 朱子先生	202035

教育学部 児童教育学科

タイトル	著 者	出 版 社	推 薦 コ メ ン ト	推 薦 者	ラベル番号
りゆうがあります	ヨシタケ シンスケ	PHP研究所	「子どもの声をきくことは大切」と頭で知ってはいても、なかなか実行することは難しいものです。つつい子どものことを未熟な存在として扱い、大人の理屈で支配してしまうことも少なくありません。本書は大人から見ると「困った」子どもの行動にも色々な理由がある(のかもしれない)ということをユーモラスに描き出しています。教育関係者だけでなく、全ての人に触れてもらいたい一冊です。	熊井 将太先生	275572
夕風の街 桜の国	こうの 史代	双葉社	核戦争の恐怖や核に頼る世界秩序の危うさを直接訴えるものではない。テーマは人間の心である。核の被害を受けた人々の心、被害を受けた人々に関わる人々の心を描いている。多くの悲惨な被爆死を目の当たりにし、自分の住む世界はこちではないのではないかと、自分には幸せになる資格があるのかと悩み続ける。10年以上経って、やっと心の整理がついたとき、原爆症を発症し、帰らぬ人となる。最後の心のつぶやき「原爆を落とした人はわたしを見て『やった、またひとり殺せた』とちやんと思うてくれとる?」は、放射能の執拗な恐ろしさを訴えている。	棚橋 健治先生	821585
新版 論文の教室	戸田山 和久	NHK出版	そもそも論文とは何か。どういう段取りで書けば良いか。これらについて、例を示しながら非常に丁寧かつ明快に記述されています。大学生になれば論文執筆は必須ですので、早いうちに読んでおくことを強くおすすめします。	土井 徹先生	288827
間違いだらけの学習論	西林 克彦	新曜社	学習者はどのようなときに学習しやすいのか? 何かを学習するときには、学習対象の量が少なればやさしいのか? 受動的な学習は良くないのか? 問題解決能力を育成するには問題解決学習の形式しかないのか? こういった問いに対して証拠を示しながら、平易かつ丁寧に解説されています。授業づくりについて考えるとき、大いに参考になるとと思います。	土井 徹先生	113021
これで納得!よくわかる音楽用語のはなし	関 孝弘	全音楽譜出版社	音楽で使われる「音楽用語」のほとんどがイタリア語。辞書を引きひき楽譜とにらめっこ。今ではグーグルでバシャリとやれば一瞬で完了。それでもなんとなく残る「えっ、どんなこと...?」。私は若き日の4年間をドイツで勉強し、ドイツ語を話して、ドイツ人に囲まれて生活して初めて「そうだったのか!」と気が付いたことが沢山ありました。 著者は「ひとつの言葉から全く違う世界観や音楽の世界が広がる場合もあるのです」と語っています。音楽では、イメージをつかむことがとても大切。この本を読んで、「そうだったのか!」を実感してみてはいかが?	永田 雅彦先生	238486
魚はなぜ減った? 見えない真犯人を追う	山室 真澄	つり人社	「シジミの一大産地・島根県宍道湖で起きていた“変化”は、ミヅバチ大量死で広く知られるあの農業が深く関係していた」日本で農業に欠かせないとされている農業は、残留して私たちの健康に不安を与えるだけでなく、命のつながりを通して、川や海に棲む貝・エビ・魚など、広大な範囲の自然の恵みに負荷を与えます。地域の環境変化にまっすぐ向き合い原因を解明していく過程が丁寧に記された本書は、私に自然理解への新しい視点を与えてくれました。何より、地域の自然を大切に思う気持ちが溢れていて、これからの環境教育を担うみなさんにおすすめの一冊です!	小川 麻里先生	318383

教育学部 幼児教育学科					
タイトル	著 者	出 版 社	推 薦 コ メ ン ト	推 薦 者	ラベル番号
乳幼児は世界をどう理解しているか	外山 紀子	新曜社	主に心理学の実験研究から明らかになった「乳幼児の心の世界」を紹介している本です。乳幼児の心の世界とはどのようなものか(大人と同じか、どう違うのか)、乳幼児期の認知発達(＝こんなことが出来る、こんなことまで分かっている)の特徴、心理学実験の手法とその面白さについて学ぶことが出来ると思います。	五十嵐 亮先生	309097
やる気を引き出すペップトーク	倉部 雄大	学事出版	ペップトーク(PEPTALK)は、アメリカ生まれの「相手のやる気を引き出す言葉のスキル」です。このペップトークには、「ポジティブ(肯定的)な言葉で」「相手の状況を受け止め」「ゴールに向かった」「短くてわかりやすく」「人をその気にさせる言葉かけ」という特徴があり、近年保育や教育にも応用されています。実際に、保育でどのようにペップトークを取り入れると子どもの自己肯定感を高められるか、事例をもとに詳しく書かれている一冊です。この本をきっかけとして、普段使っている自分の言葉を改めて見返してみたいかがででしょうか。	生関 文翔先生	313230
フレデリック	レオ・レオニ	好学社	石垣に暮らす5匹の野ねずみ達の話です。冬が迫り野ねずみ達は食料集めに必死になる中、その中の1匹フレデリックは別のことをしている…。大人になってから気づかされることが多くある名作で、無価値と思われる中にも価値があること、芸術とはなんだろうなど、読み手によって様々な解釈ができる絵本です。気持ちが冬の寒さでどんよりしたら、心の中のちょっとかわったフレデリックを訪ねてみてはどうでしょうか。	柿原 岳史先生	193919
まいにちがプレゼント	いもと ようこ	金の星社	この絵本の題名となっている「まいにちがプレゼント」ってステキな題名だと思いませんか？ 私たちは、心が少し疲れてくると、よく、毎日忙しいとか、大変だとか、言いがちになりますよね。しかし、よく考えてみると1日として同じ毎日はなく、そして「今日」は「今日」と書きますよね。今この瞬間をどのように感じ、自分のかけがえのない瞬間とするか…。この愛くるしいハリネズミさんの絵本を手にして読み進めていくと、毎日、新しい「今日」をプレゼントされているという作者の思いが理解できることでしょう。	圓光寺 美奈子先生	S00000021
知的複眼思考法	荻谷 剛彦	講談社 α 文庫	ChatGPTやCopilotなどの生成AIを使いこなす時代になりました。そのような時代だからこそ、「自ら考える力」が必要です。この本は、自分で考えるための方法を分かり易く解説したテキストです。自分なりの問題を立てるにはどうすればよいのか、立てた問題をどのように展開していけば、それまで隠れていた、新しい問題の発見につながるのか。そして何よりも、どうすれば、ステレオタイプにとらわれない「自分の頭で考える」視点を得ることができるのか、具体的な方法を示してくれます。生成AIは思考を補助する道具です。まずは「自ら考える力」を養いましょう。	澤田 光先生	801449
ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ブレイディ みかこ	新潮社	アイルランド人の父と日本人の母とその息子である「ぼく」の三大家族は、イギリスで暮らしている。「ぼく」は、中学生生活を楽しんでいるようであったが、ある日、母が『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』というノートの落書きを発見する。「ぼく」は親子でさまざまな問題を乗り越えながら少しずつ成長していく。皆さんも自分自身のアイデンティティについて考えてみてはいかがでしょうか。	新本 惣一朗先生	302284
世界を変えた100人の女の子の物語	エレナ・ファヴィツリ	河出書房新社	実際の女性の物語で、大きな夢をもって自分の力を信じて道を切り開いた100人のストーリーを短く、端的に紹介してくれて、元気をくれる1冊です。	西川 ひろ子先生	302095
手の倫理	伊藤 亜紗	講談社	自肅期間中、数年前にWS企画でお世話になったダンサーの福留麻里さんが美学者の木村寛さんと主催する「オンラインひみつのからだサロン」にお邪魔し、幸運にも、出版前の著作について著者からお話を伺う機会を得ました。著者は新領域に斬り込む素敵な研究者の伊藤亜紗さんです。今秋、出版される新著を読んでみませんか？	廿日出 里美先生	309587
ヴィゴツキー入門	柴田 義松	子どもの未来社	心理学のモーツァルトとも称されるヴィゴツキーの『思考と言語(上・下)』(明治図書、1962年)の翻訳をはじめ、わが国のヴィゴツキー研究をリードしてきた柴田義松(1930～2018)の晩年の書である。教育学や心理学、特別支援教育に関心を持って教育現場で働く人々が、あらためて「発達の最近接領域」や「生活的概念と科学的概念」等、発達と教育的関係について原点に立ち返りつつ捉え直すための本格的な研究へと誘う手引き書でもある。	深澤 広明先生	832114

心理学部 現代心理学科					
タイトル	著 者	出 版 社	推 薦 コメ ント	推 薦 者	ラベル番号
笑いとユーモアの心理学	雨宮 俊彦	ミネルヴァ書房	昔、笑いについて研究していた後輩が、調査の手続きにとても苦労していた姿を覚えています。どれくらい可笑しいかを尋ねる質問項目を作るのに、可笑しいと思える基準があまりに人それぞれで、決めるのが難しいようでした。この本は、多種多様な可笑しみの共通性と独自性について、古典的な知見から最新の研究までを紹介しながら解説しています。	池田 智子先生	285605
植物たちに心はあるのか	田中 修	SB新書	目次にある章立ては以下の通りです。第一章：植物たちの生き方に心を感じる。第二章：子孫の繁栄を願う親心。第三章：からだを守り、命をつなぐための心意気。第四章：まるで心があるかのような反応。第五章：植物の心、日本の心。脊椎動物のうち、最も進化していると考えられる私たちヒトが、その地位にふんぞり返っている不適さが恥ずかしくなると同時に、あらゆる命を前にしてもっと謙虚でありたいという気にさせられます。	金坂 弥起先生	S00002086
自閉症の僕が跳びはねる理由	東田 直樹	KADOKAWA	近年増えてきている、自閉スペクトラム症者の心の声がよく分かる、世界的ベストセラー。人との会話が困難で気持ちを伝えることができない自閉スペクトラム症の当事者が、13歳の時に書いています。外見からはわかりにくい障害を抱えている子における、他人からは理解されにくい行動とその理由、世の中に感じている想い、個人の感情といった、心の内がとても良く分かるように書かれています。	齋藤 大輔先生	841500
心は実験できるか	ローレン・スレイター	紀伊国屋書店	この本では、心理学の専門科目を受けたことがある人であれば、どこかで聞いたことのある10の心理学実験が紹介されている。ただし、描かれているのは、各実験の条件やデータではなく、その実験に至る背景やその後である。例えば、ミルグラムの『権威への服従』実験の参加者はその後どうなったのか、どうしてハーローは『代理母』実験をしようと思ったのか、そしてあの子ザルはその後どうなったのかなどが描かれている。心理学の知識がなくてもエッセイとして楽しむことができるが、心理学の予備的な知識があるとさらに深く楽しめるだろう。	藤原 裕弥先生	208771
脳から見える心	岡野 憲一郎	岩崎学術出版社	前期に紹介した岡野憲一郎氏の「脳科学と心の臨床」の続編として書かれた本です。精神科医かつ臨床心理士でもある著者は、あらゆる精神科的な疾患について脳科学的な根拠を知るとは、それらが「本当の病気」であり、来談者たちはそれに苦しんでいる犠牲者であるという理解を促すと述べています。本書の特徴は、脳科学の知見の紹介とそこから考えられる臨床心理士へのアドバイスもあわせて書かれていることです。エビデンスベーストな心理的支援を考えていく上で、心理臨床をめざす人は脳科学に親しんでおくことも大切かと思えます。	山本 文枝先生	328082
リエゾン(1)ーこどものこころ診療所ー	竹村 優作	講談社	病氣や発達障がい、精神疾患をもつ親子と真摯に向き合う児童精神科医を中心に、様々な当事者の生きづらさが描かれた漫画です。困っている子どもだけでなく、その親や周囲の子どもたちの親の反応にはどういものがあるのか、また、支える側は児童精神科医、臨床心理士、作業療法士、社会福祉士、看護師の連携のあり方などが丁寧に描かれており、心理専門家からみても学ぶことの多い漫画です。2024年2月現在、16巻まで出ています。おススメです！	生塩 詞子先生	841501
がんになった緩和ケア医が語る「残り2年」の生き方、考え方	関本 剛	宝島社	医療や、人を対象とした研究においてインフォームド・コンセントが当たり前になり、患者が余命を宣告されることも普通になりました。ホスピスや緩和ケア医も増えてきました。この本は、余命2年と知った緩和ケア医が、ステージ4の治らないがんを宣告されたからの気持ちと、「この先、自分はどう生きるべきなのか」についての思いをつづった手記です。いつでも、誰でも、治らない病気を告げられる可能性はあります。その時、自分ならどうするか、うつすらでも考えておくことは、特に、対人援助職に就こうとしている人にとって大切かと思えます。	西 まゆみ先生	315235
超人ナイチンゲール	栗原 康	医学書院	ナイチンゲールは、19世紀半ばのクリミア戦争で、負傷兵の治療に当たり話題となり、「クリミアの天使」と称されたイギリスの看護師です。その後も、医療・看護分野の改革に貢献し、世界初の看護師訓練学校を設立し、「近代看護教育の母」とも呼ばれています。そのナイチンゲールのイメージを一変させる内容に驚きました。聖女でもなく合理主義者でもなく、「永遠の今」を生きる人だった。「こんなナイチンゲールみたことがない、という一面にハッとさせられ看護について考える良い機会になりました。	新沼 正子先生	328332
ひとはなぜ戦争をするのか	A.アインシュタイン	講談社学術文庫	日本では私たちは戦争から遠い気持ちで日々を暮らしていますが、地球上には様々な紛争があります。「人間を戦争というくびきから解放放つことはできるのか」という問いに対して、20世紀を代表する物理学者のA.アインシュタインと心理学者のS.フロイトお二人の往復書簡です。この書簡は1932年に交わされていますが、21世紀を生きる私たちも深く考えさせられる内容です。解剖学者の養老孟司の解説Ⅰでは脳と戦争、精神科医の斎藤環さんの解説Ⅱでは文化と戦争が語られています。	小島 由香先生	844808
ヒルベルという子がいた	ペーター・ヘルトリング	偕成社	ヒルベルというのは少年の本名でなく呼び名です。ドイツ語でヒルンというのは脳・知能のことを、ヴェルベルというのは渦・混乱を表す言葉です。脳に渦が巻いていると言うイメージの呼び名で呼ばれるこの少年は、母から離れて施設で生活しています。児童書ですが、人として大切な物は何か深く考えさせられる読み物です。	小島 由香先生	832115
子どもを「人間としてみる」ということ	佐伯 胖	ミネルヴァ書房	あなたはどのような「子ども観」をもっていますか。また、「学ぶ」ことや「育つ・育てられる」ことをどのように捉えているでしょうか。本書は、保育の現場で大切にされてきた視点や実践を学ぶことを通して、「子どもをみる」という専門的なまなざしを育む手がかりを提供します。子どもの姿を多面的に理解して、支援と教育につながるための気づきを深め、基礎的な学びを得られる一冊です。	森 慶恵先生	261042
心理療法がひらく未来	リチャード・レイヤー	ちとせプレス	「心理療法やカウンセリングって、本当に効果があるの？」と疑問に思う人も多いかもしれません。本書では、まずは精神疾患に関する基礎的な知識から、さまざまな心の問題について、丁寧に解説しています。そして、科学的根拠(エビデンス)に基づく具体的な心理療法がどのように発展してきたのか、その歴史と治療法を分かりやすく説明しています。心理学を学ぶ学生さんはもちろん、すべての学生さんにおすすめの1冊です。	高垣 耕企先生	B00002863

心理学部 ビジネス心理学科

タイトル	著 者	出 版 社	推 薦 コ メ ン ト	推 薦 者	ラベル番号
TOKYO 0円ハウス 0円生活	坂口 恭平	河出書房新社	広告される新築マンションの価格は30年ローンで約4千万円。他方で「家はポケットにちょうどあるぐらいのカネで買わなきゃですよ」と言う鈴木さん。主流の知識を学んでしまう前に走り出すことがあってもいいと思うのです。大学時代に、自分の価値観をぐらぐら揺さぶってみよう。	古山 友則先生	844809
スモール イズ ビューティフル	E. F. シューマツハー	講談社	旅する経済学者によるシステム思考。著者は観察によって問題を剔抉し、そこから現代社会の矛盾に迫ります。「ある社会が享受する余暇の量は、その社会が使っている省力機械の量に反比例する」ことを指摘したり、「中間技術」の概念を提唱したりと21世紀の今こそ役立つ知見が満載です。	古山 友則先生	833847
お遍路	高群 逸枝	中央公論新社	高群逸枝さんは日本女性史研究者の草分けです。でも本書は専門書ではなく、氏が人生に悩んで赴いた遍路旅の日記です。あなたは何かを新しく始めたことがありますか。この推しを推しまくるぞ、バイトをやってみたい、弟にやさしくしよう、卒論に打ち込もう・・・色々な「始まりのとき」があると思います。若き高群さんが肥後(熊本)を発つときの決意をよんでください。そこにはひどく、心を打つものがあると思うのです。	古山 友則先生	844810
最後通牒ゲームの謎	小林 佳世子	日本評論社	心理学や経済学の研究手法の1つに、経済ゲームというものがあります。これは、人間の行動や社会現象をコストと利益の観点からとらえ、“お金のやりとり”に落とし込んで分析しようとする手法です。この本では、「最後通牒ゲーム」という経済ゲームにおける人間行動の不思議に迫りながら、「人間は合理的なのか？」という問いについて議論しています。わかりやすく書かれているので、心理学・経済学を全く知らない方や高校生以下の方にも読みやすい本だと思います。人間行動や経済ゲームを使った研究手法に興味のある方におすすめです。	井上 裕香子先生	324877
大原孫三郎	兼田 麗子	中公新書	戦前の中国地方で岡山県倉敷市を拠点としながら、企業経営と社会貢献を両立させた経営者である大原孫三郎氏の評伝。その波乱に満ちた生涯を辿る。	高瀬 久直先生	832129
みずうみ	テオドール・シュトルム	岩波書店	塵と水から成る人形を生かしているしくみは二つある。第一に、進化。歴史をつづじた進化が人のかたちをつくった。第二に、奇跡。こちらは共時的な事物の配置によって現れる「意味」である。シュトルムの小説は奇跡が超自然的なものではなく、日常の事物の組み合わせによって私たちの只中から生まれることを告げている。	古山 友則先生	832130
あなたの知らない心理学	中西 大輔	ナカニシヤ出版	「心理学」って本当はどういう学問なの？大学で心理学を学ぶとどうなるの？大学で学ぶ心理学について、心理学者たちが丁寧に解説。また、さまざまな話題を網羅したコラムも充実。これから心理学を学びたいと思っている人のための心理学入門。	田淵 恵先生	280981
脳のしくみ	新星出版社編集部	新星出版社	心の有り様を、脳の構造・働きからわかりやすく解説する。視覚や聴覚といった基礎的なテーマから、芸術や性格といった応用的なテーマ、そして障がい等まで網羅している。ヒト以外の動物も言及されており、脳や心への理解が深まる。	山田 涼馬先生	960936
マインドセット	キャロル・S・ドウェック	草思社	20年以上の膨大な調査から生まれた「成功心理学」の名著。学業・ビジネス・スポーツ・恋愛・人間関係…成功と失敗、それらは“マインドセット”で決まる。能力や才能は生まれつきではないことを実証した正真正銘の“成功者たちの心理学”。スタンフォード大学心理学の権威による世界的ベストセラー!!	竹内 雄司先生	295792

現代ビジネス学部 現代ビジネス学科

タイトル	著 者	出 版 社	推 薦 コ メ ン ト	推 薦 者	ラベル番号
人生について、父から学んだ大切なこと	山谷 えり子	PHP研究所	人生に迷ったとき、あなたは誰の言葉を思い出すでしょうか。この本には、著者・山谷えり子さんが父親との対話を通じて紡いだ知恵と温もりが詰まっています。参議院議員として政治の第一線で活躍されている山谷さんは、皆さんと同じ女子大出場で、女性活躍のバイオニアといえる方です。そんな彼女が父親の言葉に耳を傾けながら掘り下げる「人としての在り方」は、読む私たちの心を優しく揺さぶってくれます。古き良き日本の価値観と、今を生きる私たちへのエールが重なり合い、「何を大切にして生きているのか」という問いに静かに向き合わせてくれる一冊です。	新美 貴英先生	S00000013
国家と宗教	保坂 俊司	光文社	グローバル化の進展で、日本社会もこれから大きく変わっていくことが予想されます。異なる信仰を持つ人々が共存していく社会になるでしょう。宗教の多様性、そして宗教と政治の関りを考える上で、本書は大いに参考となります。学術的な裏付けがあるだけでなく、親しみやすい語り口で書かれており、キリスト教、イスラーム、仏教、神道といった宗教が、政治とどのように関わってきたかを分かりやすく解きほぐしてくれます。宗教と国家が織りなす複雑な現実について、新たな気づきを得ることができるでしょう。	新美 貴英先生	805470
なぜ人と組織は変わらないのか	ロバート・キーガン	英治出版	昨今、会社で不祥事が起きると、マスコミはその会社を「変わらない組織」とか、「変わることができなかった組織」といった言葉で片付けてしまうことが多いです。皆変わらなくてはならないことを知っておきながら、変わらないのが組織というものです。本書は、ヒトと同じように変わりたいという欲求はあるものの、「変化することに不安を覚え」思い通りにはいかないものが組織であることを、様々な視点で解明しています。是非、ご一読ください。	堀間 洋平先生	286159
ブルシット・ジョブ	デヴィッド・グレーバー	岩波書店	みなさん。やりがいを感じない仕事が増えていますか？それともやりがいを感じないまま働いていますか。それらすべてを「ブルシット・ジョブ(クソどうでもいい仕事)」というものです。本書は、世の中にあるブルシット・ジョブを分類するなど、これまでにない斬新な書籍です。そして、これらブルシット・ジョブは、単に「くだらない仕事」として片付けているのではなく、その背景にある社会構造なども説明しています。みなさんのお仕事はどのブルシット・ジョブに該当しますか？ご一読ください。	堀間 洋平先生	309365
アイディアのレッスン	外山 滋比古	筑摩書房	前期に水谷先生がご推薦された『思考の整理学』の実践篇です。しなやかな発想を実生活に生かすには？単なる思いつきをアイディアにするには？レポートなどの作成に当たって大きく影響するアイディアのポイントとは？自分たちが無意識に行っている作業を言語化して下さっている点に脱帽するはずです。レポートや卒業研究の作成に悩んでいるときに読めば、皆さんの役に立つはずだと思います。	田中 真由美先生	845241
戦略不全の論理	三品 和広	東洋経済新報社	日本の多くの企業がモノづくりの現場と実務の強さで高機能・高品質のモノを顧客に提供し、成長してきた一方で、収益性については低収益である状態が続いてきました。本書ではその構造を経営者の任期やオペレーションと戦略の混同から説明しています。経営環境が不透明さを増し、かつ、その変化が早くなっている中で、企業は単年度の収益変動対応に追われてしまいがちですが、長期的な収益最大化を見据えた意思決定を行うことの重要性を改めて再確認できることからお勧めします。	興梠 幸広先生	S00002087
人生はニャンとかなる！	水野 敬也	文響社	68の猫がそれぞれのカテゴリー(スタート、仕事、冒険、リラックス、習慣、コミュニケーション、希望)に関する「大切なこと」を教えてください。また、「大切なこと」に関わる「偉人エピソード」と「偉人たちの名言」が載っています。例えば、レオナルド・ダ・ヴィンチの「ひらめきは、考え続ける者だけにやってくる。」偉人たちも私たちと同様に悩んだり苦しんだりしていることを知れば、皆さんの辛さも少しは和らぐはずです。人生に彩りと癒しを与えてくれる一冊として推薦します。	田中 真由美先生	263103
戦略人事のビジョン	八木 洋介	光文社	多くの日本企業では人事の仕事というと、従業員を効率的に管理するために人事制度の立案や、人事施策の実行が行われてきました。一方で、人事制度や施策を整えるだけでは人は動きません。管理から脱却し、従業員が共感できる「ストーリー」が組織を変えるという視点について、本書では豊富な実務の事例とともにわかりやすく解説されています。人事制度を単なる評価や処遇の仕組みとしてではなく、企業の経営戦略を実現するための重要な戦略として捉えなおすことができるおすすめの一冊です。	興梠 幸広先生	S00002134
財閥を築いた男たち	加来 耕三	ポプラ社	資本主義そのものが終焉を迎えたと言われる現在において、どこにビジネスの活路を見出せばいいのでしょうか？明治維新という未曾有の危機に直面しながらも、新しい事業を起こして老舗を再建し、現代の大企業につながる「財閥」(三井グループ、三菱グループ、住友グループなど)を築いていった10人の英傑たちの足跡を知ること、ビジネスにおける成功の鍵を見つけることが出来ると思います。	田中 真由美先生	S00000730
日本の優秀企業研究	新原 浩朗	日本経済新聞出版社	長期的に好業績を上げ続ける企業には、「形」ではない「本質」があります。例えば、「世のため、人のためという自発性の企業文化を埋め込んでいること。」などは人的資本経営の根本です。企業経営の現場を徹底検証することで優秀企業の普遍性を「帰納法的」に導き出した本書から日本企業の神髄を垣間見ることが出来るはずです。企業経営を学ぶ皆さんにぜひ読んでほしい1冊として推薦します。	田中 真由美先生	S00000731

現代ビジネス学部 国際観光ビジネス学科

タイトル	著 者	出 版 社	推 薦 コ メ ン ト	推 薦 者	ラベル番号
Brilliant Communication Skills	Gill Hasson	Pearson	This is a book that helps people to develop excellent communication skills in the workplace. Specifically, the book underscores the importance of how to express yourself clearly and how to understand the feelings, needs and intentions of other people we interact with.	R.R.P. Gabbrielli先生	313252
新・観光立国論	デービッド・アトキンソン	東洋経済新報社	イギリス生まれで、現在は京都に住む元ゴールドマン・サックスアナリストの著者が、日本の観光について独自の見解を展開する。筆者は裏千家の茶名も持つ日本文化通であるが、外国人ならではの視点とアナリストとしての分析が興味深い。	佐藤 勝秀先生	278210
風土	和辻 哲郎	岩波書店	著者は同書において、モンsoon、砂漠、牧場の三つの風土類型を提示し、日本をはじめとした世界各地の自然や社会、民族や文化の違いを時間と空間にわたる哲学的な比較考察と自らの旅行体験を通じて浮き彫りにしている。わが国の文明論・文化論の礎となる古典的名著であり、第1版は1935年に出版されている。	吉原 俊朗先生	831038
会社はこれからどうなるのか	岩井 克人	平凡社	本書では、会社とは何か、法人とは何かがわかりやすく解説され、その上で、ポスト産業資本主義時代における会社のあり方やその中の働き方について論じられています。出版から十数年経ちますが、現在でも通じる議論が多く、将来会社で働く皆さんに、是非読んでもらいたい1冊です。	戸井 佳奈子先生	309848
街場の教育論	内田 樹	ミシマ社	日本のGDPがこの20年で2位から26位に落ち、国際的に影響力のある論文発表数は4位から9位に下がりました。実は同じ時代に「英語学習」熱が高まり、大学ですぐに役立つ「実学」が重視されてきました。そこには何か相関関係があるのでしょうか。実はあります。誰も指摘しないこの国の教育の欠陥と「自衛の策」を教えてくれる、「学びを知る」ために最適の書です。	西原 明史先生	227725
エッセンシャルマーケティング	若林靖永・増谷博昭	中央経済社	マーケティングの基本から現代的な視点までがアップデートされギュッとつまった一冊です(2025年出版)。語りかけるような文章で「考える、議論する」ことを促す著者の思いをキャッチしながら読み進めてみてください。	鎌田 直美先生	B00000548
A room of one's own	Virginia Woolf	Penguin Books	Written in 1929, this essay pointed to the education and economic failures as the causes of the lack of opportunities of women as writers. Based on a series of lectures, it is an important reflexion about the role of women in our world.	Joao Romao先生	309448
The Handmaid's Tale	Margaret Atwood	Anchor Books	Written in 1985, this futuristic novel describes an authoritarian patriarchal society where women only have the role of giving birth. It is a funny, surprising, horrifying and convincing satire about the situation of women in contemporary societies.	Joao Romao先生	319628

現代ビジネス学部 公共経営学科

タイトル	著 者	出 版 社	推 薦 コ メ ン ト	推 薦 者	ラベル番号
クライシス・キャラバン	リンダ・ボルマン	東洋経済新報社	昨今流行している地球環境保護、SDGs、ESG投資、温室効果ガス排出規制など、絶対的正義として誰も異を唱えることを許さない風潮がある。本書で取り上げる「人道」支援についても、その是非について疑問を挟む人は悪魔のような扱いを受ける風潮がある。しかし現実には何が起きているのかを著者の圧倒的な取材によりあぶり出した本書は、思考停止した読者の常識を揺さぶる。	安東 直紀先生	257282
死ぬまで老けない人になる	久保 明	小学館	心と体の健全が健康を守ることは、言い尽くされています。しかし、実践はなかなか難しいものがあります。昔からの言い伝えには、示唆に富むことが多々ありますが、近年の科学技術の発達著しく、その科学に基づいた正確な情報を実践することが望ましいところです。50の老けない情報としてまとめあり読み易く、一つでも自身に合ったことを実践すれば、良いと思われます。	折本 浩一先生	838198
青が散る(下)	宮本 輝	文藝春秋	時代を超えた青春文学の傑作です。新設大学に入学してテニスに打ち込む大学生たちの青春群像が鮮やかで、一読すれば一陣のさわやかさとともに青春のほろ苦さやひたむきさを味わうことができます。	三井 正信先生	841504
日本の外交	入江 昭	中央公論社	日本の外交思潮のパターンである「政府の現実主義」と「民間の理想主義」は、いかにして生まれ、その後の日本外交の在り方を規制していったか。理想なき現実は空虚であり、現実なき理想は空疎である。日本の外交における理想と現実の相克を回顧し、今日の外交の在り方を考える手がかりを示す。	竹本 知行先生	831114
新!働く理由	戸田 智弘	デイスカヴァー・トゥエンティワン	本書の「はじめに」では、こう記されています。「人生は応用問題だ。そしてこの問題を解くのは、あなたしかいない。自分で考えて自分で選ぶからこそ、あなたは自分の人生を生きたことになる。ただし、自分固有の応用問題をいきなり解こうとしてもうまくいかない。それは《法則》を理解していないからだ。」——その法則こそ111の名言です。偉人たちとの心の対話を通して「あなたが働く理由」を見つけてみませんか。	山田 貴子先生	313143
夜と霧	V.E.フランクル	みすず書房	第二次世界大戦におけるナチス・ドイツ支配下で遂行されたユダヤ民族の抹殺計画について、被害者の立場で、その実体験を綴った作品です。弱肉強食の国際関係における国無き民の過酷な体験は、祖国のありがたさを教えてくれます。同時に、憲法の保障する個人の尊厳とは何か、正義と秩序を基調とする国際平和とは何かについて、今のみなさんが、具体的に考えるきっかけとして、是非、読んでいただきたい必読の書です。	幡新 大実先生	309822
日本の地方政府	曾我 謙悟	中央公論新社	身近でありながら、なかなか理解しにくい自治体の現状を最新のデータを用いて精緻に分析した名作である。政治制度と国との関係、住民との関係、地域社会経済に焦点を当て、自治体の実態と課題を総合的に描き出している。将来公務員を目指す学生はもちろん、民間への進路を希望する学生にも一読に値する一冊。	成 鎮宇先生	830651
レールウェイマップル	昭文社編集部	昭文社	日本の交通を支えてきた鉄道は、150年余の歴史があります。現在も残っている線路がある一方で、森林鉄道や炭鉱鉄道、鉱山鉄道など、地域の産業や経済を支えてきた線路の多くは、既に廃線となつて久しい状況です。日本のどこに、いつ頃、どのような線路があったのか、どのような計画があったのか、地図の形で確かめ、その地域を振興する手段について思い描いてみませんか。	八城 年伸先生	B00001036
春の雪	三島 由紀夫	新潮社	侯爵家の令息である18歳の松枝清顕と、伯爵家の令嬢である20歳の綾倉聡子は幼なじみの仲。聡子は清顕に想いを寄せていたが、自尊心が高く不器用な清顕は、聡子の愛情表現にうまく応えることが出来ないまま時間だけが過ぎた。皇族との縁談を聡子が受け入れるところから物語は大きく展開していく…漢語とひらがなとカタカナからなる日本語の美しさを極限まで引き出した作家、三島由紀夫の最後の作品『豊饒の海』。その第一部であり、『奔馬』『暁の寺』『天人五衰』と続く四部構成の第一巻でありながら、それ自体も美しく完成された作品が『春の雪』です。	江濱 陽介先生	836817

家政学部 生活デザイン学科

タイトル	著 者	出 版 社	推 薦 コ メ ン ト	推 薦 者	ラベル番号
異常気象の未来予測	立花 義裕	ポプラ社	気候変動を「今ここにある危機」として考えることが難しいのは、それが文明の存亡に関わるような重大事にもかかわらず、自分事として捉えることができないからだ。しかし、2020年代に入るとようやく一般の人々も日本から「四季」が消えている、という肌感覚で危機を捉えるようになった。この本はまさに毎年のように起きる異常気象と気候変動の因果関係を明らかにしてくれる必読の書である。	青木 克仁先生	S00002143
父が子に語る世界歴史	ジャワーハルラー ル・ネルー	みずす書房	インド共和国初代首相ネルーが、独立運動中に刑務所から娘へ宛てた手紙を束ねた著作。教養としての世界史の事象にとどまらず、背景にある時代のうねり、苦しむ大衆への強い共感と権力者への厳しい視線など、現代性を持った思想の書物でもある。イギリスで学んだ著者の文章は簡潔で格調高く、英語の原書にも挑戦してほしい。	宮川 博恵先生	308645 308646 308647 309439 309443 309442 309441 309440
葬送の仕事師たち	井上 理津子	新潮社	映画「おくりびと」で世間に広く知られる事となった「納棺師」。「死」と「葬儀」に関わる納棺師、火葬場の職員、葬儀社社員といった方々にインタビューして書かれた何も基礎知識がなくても読みやすい1冊。生前どんな職業であれ、どのように生きても誰にでも死は早かれ遅かれ、平等に訪れる。人生いかに生きるかを考えさせられる。電子版もあり。	渡邊 健先生	830911
モモ	ミヒヤエル・エンデ	岩波書店	『モモ』は、ドイツの児童文学作家ミヒヤエル・エンデが1973年に発表したファンタジー作品です。いわゆる児童文学ですが、『モモ』は特に大人向きの本であると言われています。人間本来の生き方を忘れてしまっている現代の人々に〈時間〉の真の意味を問う、エンデの名作です。	瀬尾 香先生	830920
幸福について	ショーベンハウアー	光文社	人生について考える時の心の支えになる名著です。私が持っているのは橋本文夫/訳の新潮文庫ですが、現在は訳者に変更になって光文社からの出版になっているようです。ここから始めて、その後、アラン、ヒルティ、ラッセルの三大「幸福論」などを読み進めていくと人生の達人になれるかもしれません？高校時代に出会ってから何冊か新調されましたがおそらく私のとって人生を通して持ち続ける数少ない書籍になるのだと思います。	孔 相権先生	844813
パンづくりに困ったら読む本	梶原 慶春	池田書店	自宅で過ごす時間が増え、パン作りを楽しむ人も増えたと思います。色々なレシピ本がありますが、思ったようにふわふわのパンにならないことも多いものですね。基本的なパンの作り方を通して、材料の特徴やパン作りのポイントを学べます。また失敗しやすい点について、Q&Aで詳しく答えてくれるので、初心者でもお店のようなおいしいパンが作れます。基本を押さえたら、アレンジレシピでおうち時間を楽しんでください。	庄林 愛先生	313147
原爆の子(上/下)	長田 新	岩波文庫	ボランティア活動の授業の「平和学習」のところで紹介する本。平和のために自分ができることは何か、深く考えるきっかけになる。文章は平易だし、こういう本は子どものときに読んでもらいたいと思うが、大学生でも遅くはない。	友末 亮三先生	832132 832133
子どもの遊びを考える	佐伯 胖	北大路書房	本書は「第Ⅰ部 「いいこと思いついた！」の理論的背景」「第Ⅱ部 「いいこと思いついた！」が切り拓く世界」で構成されており、子どもの遊びの中で生じる「いいこと思いついた！」という現象を切り口に、遊びの本質に迫っています。遊びは子どもだけのものではなく、大人も興味・関心があることに「遊び心」を持っています。本書の内容は大人の遊びの捉え方にも新たな展望を拓いてくれると思います。	伊藤 圭子先生	326531

家政学部 管理栄養学科

タイトル	著 者	出 版 社	推 薦 コメント	推 薦 者	ラベル番号
「空気」を読んでも従わない	鴻上 尚史	岩波書店	皆さんは「世間」を気にして生きていますか？気にしている人はこの本を読むことで少し気が楽になるかもしれません。気にして生きているというほどでなくても、まったく気にせずに生きているひともなかなかないのではないのでしょうか。私は後者ですかね。「世間」というものをなるほどという視点で解説してくれた本です。	荒尾 恵介先生	831012
実像 広島「の」ぱっちゃん」中本忠子の真実	秋山 千佳	KADOKAWA	中本忠子氏は、広島市中区基町の市営住宅で40年近くにわたって非行少年など無償で食事を提供してきたことで知られる。NHKスペシャルでも取り上げられ、内閣府特命担当大臣表彰など大きな賞を受賞、書籍も三冊刊行。著者はそんな中本氏に2年にわたり密着し、なぜ長年にわたって無償での食事提供を行ってきたかに迫る。食の持つ力を感じるとともに30代の若さで本書を執筆できた著者の力にも感嘆した。	箱田 雅之先生	305046
一万年	安田 喜憲	イースト・プレス	福井県水月湖には、湖底に毎年繰り返されてきた堆積物の縞模様1年ごとに10万年にわたり積み重ねられている。縞模様の中にある花粉や鉱物の解析によって1年ごとの環境変化を万のオーダーで読み解くことができる。1万年前の縄文時代の環境から当時の生活を想像できる。縄文時代がいかに持続的で、技術的にも優れたものを有していた期間であったか、日本人の基盤の一端を知ることができる。北海道・北東北の縄文遺跡の世界遺産登録がほぼ決まった今、縄文時代を理解するための格好の書。	箱田 雅之先生	281885
運動脳	アンデシュ・ハンセン	サンマーク出版	歩行のような運動は、カロリー消費や筋肉に良い影響があるだけでなく、脳にも作用する。高齢者に運動してもらおうと、実際に脳の容積が増えることが研究で示されている。特に、記憶やストレスに関係する海馬の容積が増加する。大学生に運動後に試験を行うと、運動しない場合に比べて成績が良いことを示す実験もある。うつに対して、抗うつ薬と同等の効果があることも示されている。いわゆる脳トレよりも運動の方が脳の機能には良い効果があることも分かっている。運動について、目からうろこのインパクトのある本である。	箱田 雅之先生	324002
ルポ 筋肉と脂肪	平松 洋子	新潮社	スポーツをするのは身体を使ってであり、その身体を作るのは食事である。本書はアスリートの栄養をサポートする公認スポーツ栄養士の話が多く、その方面に興味を抱いている方々には、大変勉強になる内容である。知られていないトップアスリートの内面についても語られている。また、スポーツと女性の健康問題にも多くの字数が割かれている。教育の現場でも関連するが、トレーニングも栄養も取り組む人がいかに自身の問題として自分で考えられるかが重要。著者は文系出身であるが、栄養学について独自に勉強してこれだけの著作をまとめたことに感嘆する。	箱田 雅之先生	329962
20代にしておきたい17のこと	本田 健	大和書房	私は皆さんの年ごろにはほとんど活字の本を読んできませんでした。特にこのようなタイトルの本については、何者にも左右されなかったのです手に入ることはなかったでしょう。ですが、この年になってみると先人の知恵のありがたみを感じるようになってきました。とはいえ、何でも鵜呑みにするのではなく、「へえ」と思う部分だけ参考にする程度で読んでちょうだいと思います。	荒尾 恵介先生	834633
公務員という仕事	村木 厚子	筑摩書房	著者が経験した長年の国家公務員の仕事の話が中心ですが、民間にも十分通じるものがあります。著者は考え方がフラットで冷静に物事を判断されており、とても好感がもてました。また、公務員の方たちはこのように世の中のためにがんばってくれているのだなと知ることができました。公務員を目指していない人にも読んでほしい本です。	荒尾 恵介先生	830532
逆転の教育	ラッセル・L・エイコフ	緑風出版	これまでの教育は「教えること」に向けられ、「学ぶこと」に向けられて来なかった。「教室」などで「教え込まれたこと」はほとんど忘れてしまう。これは教員、学生にとって本音ではないだろうか。子供は本来学ぶほうとする意欲を持っている。しかし、その意欲は外部から注入できるものではない。教員と学生間の打ち解けた屈託のない交流こそ、教員にとっても学生にとっても貴重な学びの機会を生み出し得る。教育とは自身が自身に教えるもの、授業で最も学んでいるのは教員である。教える側、学ぶ側双方にとって目を見開かれる本である。	箱田 雅之先生	329963
研究するって面白い!	伊藤 由佳理	岩波書店	数学、医学、化学、薬学、生物学など理系の専門分野で活躍する女性科学者11人による研究案内です。それぞれの研究内容やその魅力、どのようにして進路を決め、今があるのかについても語られています。時に悩み、回り道をしながらもまい進していく姿に、元気や生きるヒントももらえます。	白井 睦子先生	832577
音楽家の食卓	野田 浩資	誠文堂新光社	あのクラシックの名曲を生んだ音楽家たちは、どんな料理を食べていたのだろうか？18～19世紀に活躍した11人の音楽家達の足跡をたどりながら各地の郷土料理を取り上げ、音楽家ゆかりの料理とエピソードをレシピ付きで紹介した一冊です。音楽家の人生を辿る読み物として、ヨーロッパの料理や食材のルーツを探る食の本として、現地の写真も多数挿入しており、旅のガイドとしても楽しめます。	白井 睦子先生	電子ブック 841773

家政学部 造形デザイン学科

タイトル	著 者	出 版 社	推 薦 コ メ ン ト	推 薦 者	ラベル番号
すきになったら	ヒゲチユウコ	プロンズ新社	すきになったら・・・あなたをしりたくなる。わたしのことをしてもらいたくなる。あなたのことばで、せいかいがかがやいてみえる・・・。 この物語は、ワニに片思いしている女の子のシーンから始まります。ワニも女の子のことが徐々にすきになっていきます。最後のページには、両思いになった女の子とワニの姿が描かれています。この最後のページのイラストが、読んだ後も心にひっきりり続けます。	谷口 和弘先生	S00002135
しろねこくろねこ	きくち ちき	学研プラス	しろねこくろねこはデザイナーきくちちきのデビュー作です。金のりんご賞を受賞した、世界で評価された絵本です。芸術性と深いメッセージ性が光る絵本で、墨のダイナミックなしなやかな線で描かれた二匹は、まるで生きているかのような躍動感に溢れています。 無駄を削ぎ落とした美しく鮮やかな色彩が、子供だけでなく大人の心も深く揺さぶる傑作でお勧めです。	滝口 隆久先生	B00002860
Michi	junaida	福音館書店	文字は一切ない、絵だけで見入ってしまう文字通り絵本と言える一冊です。重厚かつ緻密に描かれたさまざまな街は道をたどっていくといろいろな生き物、暮らしに遭遇します。一枚の絵をじっくり眺めていると、小さく絵上がれている人や動物たちが話している内容やこの館の中で起こっている事象など、読者の想像力も引き出されて不思議な世界に誘ってくれます。	納島 正弘先生	B00002619
蛇の棲む水たまり	梨木 香歩	ブルーシーブ	絵本の制作工程として、多くは物語、テキストが先にあって、その内容に沿って、絵が差し込まれるというのが一般的と考えられますが、本書は、先ず鹿児島陸氏の陶芸作品があり、その作品を観て梨木香歩氏が話を創作するという、大変ユニークなスタイルをとっています。造形デザイン学科は、アート、デザインに加え陶芸、金工といった工芸分野にも注力しています。物語創作、グラフィックデザイン、エディトリアルデザイン、陶芸といった異なる創作分野が美しく凝縮された本書は是非手に取って頂きたい一冊です。	池田 嘉人先生	840974
旅の絵本	安野 光雅	福音館書店	今年は安野光雅生誕100年のメモリアルイヤー。生前9冊刊行された代表作の一つ『旅の絵本』ですが、安野氏が逝去後のアトリエで、新たな原画が発見されました。このメモリアルボックスは、本人不在の困難な編集の末、10巻目となる「オランダ編」を迎えた記念碑です。優しいタッチで、繊細克明に描かれた街並みや自然の風景、人々の暮らし、そして密かに散りばめられたその国の童話や名画の一場面を探す楽しみも本シリーズのみどころのひとつ。1977年の刊行以来、足掛け45年にも及んだこの旅の絵本は、安野氏の人生の旅そのものともいえるでしょう。	福田 恵先生	194088 194089 194090 194091 194092 S00002137 S00002136 S00002140 S00002139 S00002138
地球は日時計	安野 光雅	福音館書店	広島のお隣、島根県出身の安野光雅氏は、時代を越えて学ぶべく多くの良書を残しました。この絵本は地球の動きと太陽との関係性の絵本です。まだ時計がなかった昔の時代、人々が時間を知るために用いたのは太陽が作る影の動きでした。なぜ夏と冬で昼の長さが違うのか？なぜ北半球と南半球で季節が逆なのか？なぜ日時計は規則正しく時を刻むことができるのか？このしつけ絵本はそれらの不思議を、単なる情報を超えて体験的に教えてくれる化学絵本です。興味を持った方は、安野氏の故郷、津和野町にある安野光雅美術館にもぜひ足を伸ばしてみてください。	福田 恵先生	B00002620
ひとつ	マーク・ハーシュマン	福音館書店	「1」という数字をテーマとして扱った絵本です。小さい数字のように感じられますが、じつは世界中の様々な物事や事象が、この数字の中に収まってしまっていて、読んでいて気付かれます。絵本の原題は「ONLY ONE」。最後まで読み進めると、きっと世界の見え方が変わるはずですよ。	佐々木 誉斗先生	B00002865
どうなってるの？きかいのなか	コンラッド・メイスン	ひさかたチャイルド	『どうなってるの？きかいのなか』は、身近な機械の内部構造を、めくるしかけを通して楽しく学べる絵本です。トイレ、ピアノ、エンジン、ショベルカーなど、普段は見ることでできない「中のしくみ」に触れることで、形と機能の関係に気づくことができます。見た目の美しさだけでなく、使いやすさや動き、構造からものを考える視点を養うきっかけとなる一冊です。	濱本 隆先生	S00002833
うたをうたうとき	まど・みちお	アノニマ・スタジオ	子どものために絵本を探していたとき、この一冊に出会った。思わず手に取ったきっかけは、渡邊良重さんが描くやさしく愛らしい表紙である。子どもにそっと語りかけるような温かさを感じ、その魅力に惹かれた。そして、この絵本を通して詩人・まど・みちおさんの言葉の世界にも触れることができた。絵と詩が互いの魅力を引き立て合い、ほかの絵本ではなかなか味わえない独特の世界観を生み出している。	福永 敦先生	B00002864
光の旅 かげの旅	アン・ジョナス	評論社	「光の旅 かげの旅」は、一冊の絵本を表・裏、さらに上下を変えて読むことで、朝から夜までの一日の出来事を光と影という対照的な世界で楽しめる独創的な絵本である。同じ絵でありながら、視点を変えるだけで異なる風景や物語が生まれ、読む人の想像力を大きく刺激する。1983年にアメリカの絵本作家アン・ジョナスによって制作された作品であり、当時のアメリカの原風景を感じられる点も印象深い。発想の豊かさや絵本表現の可能性を実感できる一冊として推薦したい。	福永 敦先生	S00002088

薬学部 薬学科

タイトル	著 者	出 版 社	推 薦 コ メ ン ト	推 薦 者	ラベル番号
絶望死のアメリカ	アン・ケース	みずす書房	ノーベル経済学賞受賞の著者たちがアメリカの貧困を調査する過程で、中年の白人男性の自殺、薬物過剰摂取、アルコール性肝疾患が急増していることに気付き、これら3つを「絶望死」と定義してその原因を探ります。そして原因のひとつとして、現在のアメリカが「鎮痛剤」オピオイドによる大規模な薬禍にあることが判明するのです。薬学と社会の関係における暗い側面を考える良書です。	田中 亜路先生	313039
ロウソクの科学	ファラデー	岩波書店	ロウソクがなぜ燃えるのかを科学的に考察した世界的名著です。製本工から夢を叶え、偉大な科学者になったファラデー(1791-1867)が、少年少女に語りかけながら実験をくりひろげます。ノーベル賞を受賞した吉野彰氏もお薦めの本書は、今なお世界中で愛読されています。	的場 康幸先生	812673
孫子	金谷 修	岩波書店	孫子の兵法は、2500年前に書かれた兵法書でありながら、現代の多くのビジネスマンや経営者から愛読されています。しかし、これはあらゆる人が如何にして自分の望むような人生にしていけるかを説いた教科書といえるものです。勉強に、仕事に、恋愛に、結婚に、子育てに、今後の自分が進む道標になってくれる本だと思います。	加藤 貴史先生	800014
小さな小さなクローディン発見物語	月田 承一郎	羊土社	京大教授だった著者が亡くなる1か月前に遺した書です。すい臓がんを患い、死を覚悟して、個人、また、研究者としての人生を振り返りながら記された、若い科学者へのメッセージです。研究の面白さと真理を『発見』する喜びが伝わる一冊として推薦します。	平野 真先生	313040
くすりの科学知識		ニュートンプレス	薬は体の中をどのようにめぐり、どのように効果を示すのか。ワクチンと薬のちがいは何か。薬のしくみをわかりやすく解説した本です。	高野 幹久先生	839514
世界を変えた10人の女性科学者	キャサリン・ホイットロック	化学同人	マリー・キュリーをはじめ、女性科学者たちが何を考え、信じ、実行したかについて解説されている。	高野 幹久先生	316801
置かれた場所で咲きなさい	渡辺 和子	幻冬舎文庫	「置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのです。時間の使い方は、そのままのちの使い方です。自らが咲く努力を忘れてはなりません。」数奇な運命をたどった著者の名著。	高野 幹久先生	831110
「腸内細菌」が健康寿命を決める	辨野 義己	集英社	腸の重要性が増すなか、およそ半世紀にわたり腸内細菌を研究し、その能力を知り尽くした著者が、研究秘話とともに腸内環境の整え方、セカンドブレイン(腸は第二の脳)、長寿菌の特定方法、新型コロナと腸内細菌の関係、など、腸内細菌と健康・美容に関するあらゆる疑問に答えています。流行している研究テーマの下僕とならない、研究者としての矜持を感じるこのできる1冊です。	北澤 健生先生	844817
THE創業	日本薬学会	薬事日報社	日本は新薬創出数が世界第2位の実績を長らく誇ってきましたが、年々その立場は脅かされています。国策としての創薬力強化が推進される中、創業に関する教育・研究は薬学部の使命の一つであるはず。本書では、なぜ日本が創業に力を入れる必要があるのかを製薬業界の現状分析や薬剤経済学的な視点から述べられています。また最近の日本発の新薬開発物語が、実際の発明者(その中には私の元同僚もいる)により臨場感あふれる文章で記載されていることも魅力です。ぜひ本学学生も創業に目を向けてほしいと願っています。	松野 研司先生	317348
DIE WITH ZERO	ビル・パーキンス	ダイヤモンド社	この本はただ生きるだけではなく、十分に生きる、そして経済的に豊かになるだけではなく、人生を豊かにするためにどうすればいいかを考える機会を与えてくれる1冊である。特に強調されているのは、経験、それも自分にとって価値のある経験にお金を使い、たくさんのいい思い出を作ろう、という点である。今後、働き方もますます多様になっていくことが予想される中で、一度立ち止まって豊かな人生とは何か、考えてみるのも良いかもしれない。	高野 幹久先生	844818

看護学部 看護学科

タイトル	著 者	出 版 社	推 薦 コ メ ン ト	推 薦 者	ラベル番号
1日1話、読めば心が熱くなる365人の仕事の教科書	藤尾 秀昭	致知出版社	365人が人生や仕事に対する思いを綴った1日1話1ページの目めくり形式の本です。1話完結なので気になる人や、気になる日付から読み始めることもできます。有名人やその道の第一人者の言葉がリアルに語られているため、心に響き、感謝や謙虚な気持ちも生まれます。自分が苦労した部分と同じような状況には共感が生まれ、また頑張る力が湧いてくるような、疲れた時にやる気や元気をもらえる本です。本に厚みはありますが、1日1ページずつ読み進めていけるため読書習慣をつける入門編として活用できるおすすめの一冊です。	島崎 晴美先生	833443
16週	向井 亜紀	扶桑社	待ち望んだ初めての妊娠判明から、子宮頸がんの告知、わが子を失うことを意味する妊娠中の子宮全摘出術の決断、それに続くがん治療の開始という、ほんの数か月の間に著者とその家族に起こった生と死にまつわる出来事を綴った一冊。母となった著者の心の葛藤を通して命の大切さを考えさせられるだけでなく、この本は、AYA世代の学生が自分の身体を知るために産婦人科に足を向けるきっかけにもなると思います。著者の言葉の通り、これから女の子は「行きつけの美容院を持つみたい」、行きつけの産婦人科を持ってほしい。」	上土 志保美先生	838200
花の鎖	湊 かなえ	文芸文庫	一年に一度送られてくる「Kより」とだけ記されたカードと豪華な花束を巡る3人の女性の物語。3人の女性には共通点があり、内容の複雑さは全くの予想外！空き時間に読むというよりは、時間に余裕があるときに、じっくり読みたい本です。人に頼らず己の足で人生を歩こうとする女性の生き方に励ましをもらいます。	山本 久美子先生	841508
檸檬	梶井 基次郎	角川文庫	人は誰でも鬱屈した心の状態に陥るものでしょう。病気や貧困などの自分の力では抗えない出来事は人の心に影を落とします。しかし、人の心とは逃避、コーピングの道も探ります。著者が明るい光のような爽やかな檸檬を見つけた時のその視覚から精神世界に広がる空想と光りは、現実との境を不明瞭にして著者も読者も混乱させますが、混乱と同時にある種の爽快感を感じさせる不思議な結びに至ります。余韻がいつまでも残ります。COVID19を経験した今再読することをお勧めします。	山口 智美先生	838182
空白の天気図	柳田 邦男	文春文庫	1945年、広島地方気象台は、爆心地から約3.7km離れた江波山にありました。気象台員の多くは負傷しながらも、当番日誌等に詳細な記録を残しています。その翌月、広島を昭和の三大台風の一つに数えられる枕崎台風が襲いました。戦時中、天気図は機密扱いで、終戦直後も電信網が壊滅状態のため、重要な気象情報の人々に伝わるのがないまま、大野陸軍病院を山津波（土石流）が襲いました。その気象台は、現在、広島市江波山気象館となっています。広島出身の人は行ったことがあるでしょう。本書を読んで再訪してほしいと思います。	吉栖 正生先生	818559
健康格差社会	近藤 克則	医学書院	医学・医療は進歩し、国民の健康志向はますます強まり、関係者の努力で健康づくり運動は進んでいる。それにも関わらず、人々の健康の不平等が進み、後退現象にある。その疑問を解き明かす手がかりが本書にある。医学・医療従事者、公衆衛生関係者など健康に関わる人々だけでなく、コロナ禍と同じように、社会保障政策、経済政策に関わる人、これらを学ぶ初学生に向けての良書となる。	林 真二先生	313238

理工学部 生物科学科					
タイトル	著 者	出 版 社	推 薦 コ メ ン ト	推 薦 者	ラベル番号
人間と昆虫のこれからを考える	沼田 英治	岩波書店	プロローグで、理不尽に昆虫を嫌うことに対して問題提起し、好き嫌いを超越した有意義な挑戦に一般の読者を誘う一冊です。医療、農業、生活の中で、人に嫌われながら、そして利用されながら、ただ身近な生命体の一つとして存在している昆虫を、科学者として、ナチュラリストとして、中立の立場から紹介しています。昆虫嫌いな人や、昆虫とは関係ないと思って人生を送っている人に向けた、入門書としてお薦めします。	柳川 綾先生	S00002089
互恵で栄える生物界	クリスティン・オールソン	築地書館	本書は、生物どうしの助け合いや共生という視点から生物の世界を理解するための一冊です。腸内細菌とヒト、土壌微生物と植物の関係をはじめ、微生物から植物、昆虫、動物まで、多様な生物が支え合うネットワークをわかりやすく紹介しています。生物は独立して生きているのではなく、さまざまな生物とのつながりの中で生かされていることを実感できます。生態系再生の取り組みも紹介され、生物多様性を支える人間の役割についても考えさせられます。生物が互いに助け合う関係を知ることで、生物学をより一層面白く身近に感じられます。	石川 裕規先生	E00000707
クララとお日さま	カズオ・イシグロ	早川書房	著者のノーベル文学賞受賞後第一作。主人公のクララは人工ロボットです。しかし生物学を学ぶことで、細胞、つまりすべての命が電気反応を利用して生命活動行っていること、脳もまた精密な電子回路であることを私たちは知っています。優れた能力を持ち、やさしいココロで人に接するクララを通して、絆や心というテーマに語りかける一冊です。AI利用が進む今、私たちがどのように社会や技術と向き合うべきか、友達、家族そして自分とは何かを考えさせてくれると思います。	柳川 綾先生	313184
古典文学と野菜	廣瀬 忠彦	東方出版	題名通り、日本の古典に登場する野菜(有用植物)を取り上げた本です。「生物学」は、文系・理系とわず、また音楽や絵画等の芸術など、すべての人間活動に直結します(直結させることができます)。これまで科学重視だった自分に、文学的な要素が欠けており、その知識が必要なのだと痛感させてくれた本です。自然のものすべてに神が宿っている、という日本人の感覚は、経済とテクノロジーに重点が置かれる昨今こそ大事にすべきだ!と思うそのあなたに、ぴったりの一冊です。	武田 征士先生	147518
『種の起源』を読んだふりができる本	更科 功	ダイヤモンド社	『源氏物語』や『戦争と平和』など、タイトルは知っているけど読んだことがない名著は多々あります。その筆頭格でしょう、あの進化論のダーウィンの『種の起源』も名前は超有名なのに、原典を通読した人はごく少数です。この本は、それを「読んだこと」しておきたい」あなたのために、進化論の核心をやさしく整理しつつ、現代の進化生物学の視点もそっと添えてくれます。授業やレポートでスマートに語りたい大学生にぴったりの一冊です。	長沼 毅先生	S00002090
人体最強の臓器 皮膚のふしぎ	梶島 健治	講談社	『人体最強の臓器 皮膚のふしぎ』は、皮膚を単なる「体を覆う膜」ではなく、免疫、防御、感覚、体温調節など多彩な機能を担う重要な臓器として、最新の研究成果を交えながらわかりやすく解説した一冊です。皮膚科学の第一人者である著者ならではの視点から、身近な現象を科学的に理解する面白さを味わえます。医療・生命科学・化粧品科学に関心のある学生はもちろん、人体の仕組みを学びたいすべての人に推薦します。	松浦 達也先生	S00002091
アズキの起源	内藤 健	東京書籍	「アズキは日本生まれか、それとも大陸生まれか?」長年続いてきた論争に、最新のゲノム科学と考古学の両面からアプローチし、その謎を解き明かした一冊です。専門用語が登場する場面もありますが、理系知識のない読者にも分かるように丁寧に書かれており、専門外の学生でも安心して読み進めることができます。最先端の科学的知見はもちろんのこと、思わず誰かに話したくなるような「アズキ雑学」も満載です。あんぱん、赤飯、ぜんざいなど、身近な食文化を支えるアズキの知られざる歴史に迫ってみませんか?	玉木 峻先生	S00002092
顕微鏡でのぞいてみた 身近な植物断面図鑑	加藤 優太	ベレ出版	植物の断面はこんなにきれいで面白い! スギナ、ホトケノザ、ナス、ミント、バイナツプルなど、身近な植物の美しい断面写真が数多く収められています。実習などで植物切片を作製した経験のある方なら共感していただけるかもしれませんが、切片づくりは、思いのほか難しいものです。思うように切れなかったり、分厚くなってしまったり、向きがそろわなかったり……。そうした苦労を知る方ほど、著者の切片作製技術の高さにも驚かされるはず。ぜひ一度眺めてみてください。	磯田 珠奈子先生	S00002093
現場の流儀	大工のしょうやん	クロスメディア・パブリッシング	「効率化」が優先される現代、YouTubeで国内外から熱い視線を集めているのが、長年、建築現場に立ち続けてきた著者の「大工のしょうやん」です。本書は、著者自身の職業人生で培ってきた仕事の考え方を綴った一冊です。著者が現場で積み上げてきた泥臭くも普遍的な知恵は、大工だけに限ったものではありません。どんな職業であっても、仕事を覚え、信用を築き、人に選ばれる存在になるために必要なことは変わらないはずです。現代を生きる人々へ向けた、職種や時代を超えて読める、不変の仕事論をわかりやすく綴った書籍です。	石原 浩二先生	S00002141
学ぶこと生きること	猿橋 勝子	中央公論新社	本書は2026年度前期に推薦した小説「翠雨の人」の主人公である猿橋勝子による、女性として生きることと学ぶことの素晴らしさについて、そして専門職を持ち、社会に目を向け自立つことの大切さが説かれた一冊です。「白梅」に掲げられている本学の学園訓「柔しく剛く」の意味と大きく重なる内容です。ので、安田女子大の学生、特に研究者を目指す学生は必読の一冊です。その他にも勝子の自伝的エッセイや、優れた女性の先駆者についても知ることができます。是非、「翠雨の人」と合わせてお読みください。	高橋 重一先生	S00002142

理工学部 情報科学科					
タイトル	著 者	出 版 社	推 薦 コ メ ン ト	推 薦 者	ラベル番号
教養としてのAI講義	メラニー・ミッチェル	日経BP	著者のメラニー・ミッチェル氏は、『ゲーデル、エッシャー、バッハ あるいは不思議の環』の著者であるダグラス・ホフスタッターの愛弟子とのことです。本書は分かりやすいだけでなく、今後のAI研究に多くの示唆をあたえてくれる奥深さも兼ね備えた名著だと思います。AI研究を目指す人は必読です。	土屋 敏夫先生	326063
縫うコンピュータグラフィックス	五十嵐 悠紀	オーム社	著者の五十嵐悠紀氏は、お茶の水女子大出身でみなさんの大先輩です。自身の趣味や興味を研究に取り入れ、ぬいぐるみやビーズ細工の作り方を計算によって求めるデジタルファブリケーションの研究を行っています。本書は、その研究成果をわかりやすく説明しているので、数学や物理が苦手だと思っている人にもおすすめです。	馬場 雅志先生	845758
Gamer Girls	Mary Kenney	Running Press Kids	日本発のデジタルコンテンツは世界を変えてきました。「ゲーム産業をつくった25人の女性」を描いた本書では、日本からは「ドット絵の匠」渋谷員子、「乙女ゲームの生みの親」襟川恵子、「ゲーム音楽のレジェンド」下村陽子の世界に先駆けた仕事を紹介されています。ティーン向けの英語本なので、もしもあなたの記憶に残るゲーム作品名を見つかることができれば(当時の体験を思い出しながら)楽しく読むことができるでしょう。	山根 信二先生	B00000020
AIにはできない	栗原 聡	角川新書	本書は、人工知能学会の会長による著書です。「はじめに」には、『「AIができること」「まだ人にしかできないこと」「どのような課題があるか」「私たちが考えるべきこと」など、著者の言いたいことはほぼすべてについて言及したつもりである。』と書かれています。生成AIが身近になった今、AIとどう共に生き、どんな次世代AIを目指していくべきかを、私たち自身が考えるきっかけとなる一冊だと思います。日常的にAIを使っている皆さんにも、ぜひ手に取ってほしい本です。	青山 正人先生	S00000018
インターネット文明	村井 純	岩波書店	インターネットの父とも呼ばれる第一人者が著した新刊。日々の生活に欠かせない情報通信を支えるインターネット。現代社会においてその存在がなければ、私たちは生きていくことすらできません。全世界で利用者が50億人を超えた今、インターネットは、趣味や仕事から医療や安全保障までを包摂するひとつの「文明」と化しています。そこにはどのような人類史的な課題や使命があるのかを、インターネット構築、普及の最前線に立ってきた著者が、これまでの経緯とともに語ります。	相原 玲二先生	844026
統計学が最強の学問である	西内 啓	ダイヤモンド社	AIやビッグデータの活用が広がる今、統計的なものの見方はますます重要になっています。本書は、統計学の考え方を身近な話題でやさしく解説し、なぜ統計が現代社会で「最強」なのかを教えてくださいます。情報科学に初めてふれる方にも、データと賢くつきあう第一歩として最適な一冊です。	大川原 真一先生	319859
AIとBIはいかに人間を変えるのか	波頭 亮	幻冬舎	AI技術の発展とベーシックインカム(BI)制度を組み合わせた未来社会のビジョンを示唆する内容。AIの歴史と人間との関係を整理し、BIの仕組みやメリット、実現可能性を詳細に検討し、民主主義・資本主義との関係性まで踏み込んで論じている。また、AI+BIが創出する「新しいステージ」における人間の生き方を問いている。技術革新と社会制度改革が同時に進む時代において、人間の存在意義や働き方を再考する重要な一冊である。	西村 則久先生	S00000019
計算社会科学入門	鳥海 不二夫	丸善出版	計算社会科学とは、ビッグデータやAIを用いて社会現象を分析する、比較的新しい学際的分野です。本書は、ソーシャルメディア、ネットワーク分析、社会シミュレーションなどを通じて、人間社会の構造を読み解く方法を紹介しています。情報分野だけでなく、社会や人間行動といった文系的視点も含んでおり、幅広い方への入門書として最適な一冊です。	酒井 達弘先生	電子ブック 845854
図説 視覚の事典	日本視覚学会	朝倉書店	『図説 視覚の事典』は、視覚に関する知識を体系的かつビジュアルに理解するための優れた入門・参考書です。日本視覚学会の編集によって編集された本書は、光学、生理学、心理学、美術、デザイン、情報工学など多岐にわたる分野を横断的に取り上げており、視覚に関わるあらゆるテーマを網羅的に解説しています。豊富な図版や写真を活用し、専門的な内容でありながら視覚的に理解しやすく構成されている点が特徴です。視覚に興味をもつ学生にとっては、視覚の不思議やメカニズムに触れる格好の一冊となるでしょう。	包 躍先生	324122
演習で学ぶ MATLABによるディープラーニング	吉富 康成	コロナ社	ディープラーニングは、大変注目されている技術ですが、その環境を作成することはなかなか難しいものがあります。そんな中、MATLABというソフトを使いディープラーニングの環境を作成することが注目されています。環境作成が簡単になるだけでなく、結果をグラフ化することも容易ですので、ぜひ、覗いてみてほしい世界です。	山下 明博先生	S00000020

理工学部 建築学科

タイトル	著 者	出 版 社	推 薦 コメント	推 薦 者	ラベル番号
Visionaire No. 20	the editors of Visionaire and Rei Kawakubo	VISIONAIRE PUBLISHING	『VISIONAIRE』は1991年にNYで創刊された、ファッション、アート、写真が融合した世界的に有名な限定版アート雑誌である。なかでも「COMME des GARÇONS号」は、同誌初のゲストエディターを迎えた一冊だ。発売はマース・カンニングハムの舞台衣装で注目された通称「瘤ドレス」の発表期と重なる。最大の特徴はドレスの実物大型紙が付属する点で、実際に制作も可能である。本という概念にとらわれず毎号異なる驚きの形状で発表されるヴィジョネア。特製ボックスに90年代という時代が凝縮された贅沢な本作をぜひ体験してほしい。	岩城 朱美先生	準備中
都市防災がわかる本	防災リスク管理研 究会	彰国社	本書は、地震、津波、火災、水害など、都市が直面するさまざまな災害とその対策を、豊富な図や写真を用いて分かりやすく解説した防災の入門書である。地震の発生や建物被害の仕組みに加え、耐震・免震・制震技術、液状化、避難、災害後の復旧・復興など、建築と都市に関わる幅広い内容が体系的にまとめられている。専門的な知識を身に付けるだけでなく、建築物単体の安全性と都市全体の防災を関連付けて考える視点を養うことができる。構造、防災、都市計画を学ぶ学生はもちろん、建築に関わるすべての学生に読んでほしい一冊である。	大久保 孝昭先生	324961
統計のはなし	大村 平	日科技連出版社	建築は、人間との密接な関りがあります。人間の生体は無視した建築は利己的であり、建築本来の目的を失っています。その意味で、人間の生体を理解することは建築を实践する上で非常に重要です。人間の生体には個人差があり、これを理解するためには統計の理解が必須です。統計は難しいと敬遠されがちですが、著者である大村平氏の「おはなし」シリーズは、非常に平易に分かりやすく、統計や確率に関する内容を表現されています。初学者向けの図書であり、おススメします。	太田 周彰先生	331140
翻訳語成立事情	柳父 章	岩波書店	今では普通に使われている「社会」「個人」「近代」などの抽象名詞は、幕末から明治期にかけて翻訳のために生み出された言葉です。外国語を日本語へ翻訳する過程で生じた葛藤や意味の揺れ、矛盾を意識することの重要性を教えてくださいます。建築を考える上でも、翻訳語という視点から「美」とは何かを改めて問い直させる一冊です。	渡邊 詞男先生	851120
世界のリノベーション建築	GESTALTEN	グラフィック社	地球の環境を考えると、古くなった建物を壊して新しく建て直すよりも、既存の建物を改修して使い続けるほうが良さそうです。日本でも古民家を改修(リノベーション)したカフェなどを多く見かけるようになりましたね。それでは世界ではどのような改修がされているのでしょうか？建物が古くて構造が制限されることを逆に利点にすることで、様々な現代的なデザインが生まれてきています。みなさんも、身近な建物のリノベーション後の姿を想像してみましょう。	小林 久高先生	B00002621
建築家なしの建築	B・ルドフスキー	鹿島出版会	『建築家なしの建築』は、著名な建築家が設計した建築だけではなく、人々の暮らしや地域の文化、気候風土との関係から建築を考える視点を与えてくれる一冊です。名もない建築や日常の生活空間にも価値があることを示し、建築が社会や人々の営みの中で形成されるものであることを学べます。設計を学ぶ学生にとって、身近な環境を観察し、生活や地域との関係から建築の意味や可能性を考えるきっかけとなる本です。	郭 ヤウエン先生	318875
ネンドノカンドー脱力デザイン論ー	佐藤 オオキ	小学館	佐藤オオキ氏は学生時代は建築を学んでおられましたが、プロダクトデザインをはじめ様々なデザインで世界的に活躍されておられます。デザインの現場において、分野に捉われないことなく、物の在り方や人々の生活に考えを巡らすことの大切さ、面白さにこの本を通じて触れることができます。デザインの実現において、一見簡単そうなデザインに見えても、その背景には計算された緻密さや技術があることもこの本を通じて触れることができるかと思えます。	山田 俊亮先生	298006
「インクルーシブデザイン」という発想	カセム、ジュリア	フィルムアート社	インクルーシブデザインの特徴は、社会の多数派だけを見るのではなく、障害のある人など、社会の主流とは異なる立場や経験に目を向けることにあります。従来のデザインが十分に捉えてこなかった人々の視点に立つことで、これまで見落とされていた課題が浮かび上がり、新しいアイデアや可能性が開かれます。自分にとっての「当たり前」を疑い、異なる立場から社会やデザインを考える姿勢を学べる一冊です。建築や製品、サービスなど、人のための環境づくりに関するすべての学生に読んでほしい本です。	佐々木 伸子先生	277607
設計のための建築環境学	日本建築学会	彰国社	街の中を通り抜ける風は、とても気持ちの良いものです。しかし人を取り巻く環境は目に見えないため、どうすればより気持ちの良い風を流せるのかは分かりません。本書は例えば、ひもを使って風を可視化する装置で街の中の風を知り、身体的な感覚を得ることーそれこそが環境設計の出発点であると教えてくださいます。こうして身近な環境を「みつめる」体験をもとに、底など建物の技術へと「つくる」手法を導く実践的な内容にあふれています。環境を形に置き換えたい学生の皆さんにとって、素晴らしい入門書であり、手に取ってほしい本です。	山田 裕巳先生	314093
自分の中に毒を持て	岡本 太郎	青春出版社	「物を創ること」が「人として生きること」と、ここまで深く結びついているのだ、ということを改めて体全体で感じざるを得ない、貴重な言葉たちで充満しています。それなのに、どれもが短い章立てで構成されているので半日ですべて読めてしまいます。これから「創る」ことに入ってゆこうとする人たちにとって、まずなにより先に読まれるべき熱くそして最も原始的な言葉たちです。	前田 紀貞先生	830921